

記入例

避難行動要支援者のための個別避難計画書

(表面)

作成日： ■年 ■月 ■日

基本情報	(フリガナ)	ウラヤス タロウ		■男□女	生年月日	昭和16年4月1日 (82歳)
	名前	浦安 太郎				
	住所	浦安市 中央1-1-1				
	連絡先 (本人)	■自宅 □携帯 □FAX □メール 000-0000				
	家族構成	□単身 ■同居家族 (妻 花子 76歳) ■別居家族 市内・市外 (長男家族が日の出在住 次男は横浜 長女は大阪)				
	緊急時 連絡先 (家族等)	氏名	髷浜 次郎	続柄	長男	連絡先
	氏名	髷浜 三郎	続柄	次男	連絡先	△△△-△△△△
	氏名	浦安 さくら	続柄	長女	連絡先	▲▲▲-▲▲▲▲
心身の状況	□要介護・要支援 ■障がい者手帳 □その他 (身体1級)					

必要な支援	避難時	自力歩行はできないため車いす使用 乗り降りに支えが必要 服薬1日3回あるため避難の際は持ち出し必要
	避難生活	ベッド必要 手すり無しだと起き上がる際に支えが必要 トイレ介助が必要

できるだけ具体的に確認し記入してください。

災害時リスクの状況	住まい	■戸建て (平屋・2階建て・3階建て以上) (築年数 42 年) □マンション・アパート (居住階数__階) (木造・鉄骨鉄筋造) (築年数__年) (エレベーター 有・無)	
	ハザードマップ	洪水	□浸水想定区域内⇒ □0.5m未満 ■0.5~3m □3m以上
		内水	□浸水想定区域内⇒ ■0.2m未満 □0.2~0.5m □0.5~1m □1m~2m
	ペット	■いる (文鳥) ⇒ ■一緒に □他に預ける ()	
持ち出し品	■医薬品 () ■車椅子等 □補聴器 ■その他 (紙おむつ)		

ハザードマップで確認してください。

持ち出し品が多く、重い場合は、支援者や介護者が持ち出せるか確認しておきましょう。

前ページのリスクの状況をふまえ、避難先をどこにするか、風水害の場合と地震の場合の両方を記載しておきましょう。

避難行動要支援者のための個別避難計画書 (裏面)

在宅避難【知人、親せき宅含む】(**長男宅**) 一次避難所 (**〇〇小学校**)
 その他 ()

徒歩 車いす 自家用車 自家用車以外の車両【施設車両・タクシー等】
 その他 ()

経路地図を記載 【地震の場合、道路が制限されることも想定】

自由記載欄 (在宅避難の際の留意点など)
風水害のときは長男が見に来て、長男宅か自宅の2階に避難する。男性2人以上でおんぶして上げる 2階にもベッド 水やおむつの買い置きあり

地図は必須ではありません。避難先がわかれば文章でも良いです。地図を付ける場合は、地図のコピーを張り付けても構いません。

聞き取りや避難訓練・調整会議で気づいたことを記載してください。

避難訓練を実施した場合や、個別避難計画書の作成にあたり、地域の方々と話し合いをした場合はご記入ください。

福祉専門職 (ケアマネジャー・)	事業所名	菜の花支援事業所	
氏名	千葉 春子	連絡先	〇〇〇-XXXX
氏名	中央自治会 防災班	氏名	千葉 春子
連絡先	〇〇〇-XXXX	氏名	田中 一郎
連絡先	△△△-XXXX	氏名	田中 一郎
氏名	田中 一郎	氏名	田中 一郎
連絡先	▲▲▲-XXXX	氏名	田中 一郎
氏名	田中 一郎	氏名	田中 一郎
連絡先	▲▲▲-XXXX	氏名	田中 一郎
地域調整会議	●年 ●月 ●日実施	地域調整会議	千葉 春子 山田 秋子
避難訓練	●年 ●月 ●日実施	参加者	田中 一郎 田中 一郎

【同意欄】上記の内容について確認しました。避難支援等関係者への情報提供について承諾します。この計画の実施は関係者自身の安全が前提であるため、計画の作成により災害時の避難支援を保障するものではなく、関係者は法的な責任や義務を負うものではないことについて了承します。また、避難する際の、移動経費や滞在経費は自身で負担します。

◆年 ◆月 ◆◆日

本人署名 氏名 _____

代理署名者の場合 氏名 **清安 花子** 関係 **妻**

ご本人・ご家族の確認のうえ、署名していただきます。